

ヒューマニズムの名匠・清水晴木 涙腺崩壊のファンタジー！



かりそめの人生リセットで
手に入れた予想外な結末は!?

清水晴木 『分岐駅まほろし』

満月の夜、
〈もしもあの時…〉
を巡る時間旅行へ――

STORY

分岐駅まほろし——それは満月の夜にだけ現れるという不思議な駅。過去に後悔を抱えた者たちが行き着く場所。「もしもあの日、あの時、今とは違う生き方を選んでいたら…」。
〈人生の分岐点〉へと巻き戻り、選択することのなかったもう一方の人生を辿る訳アリな男女。やがて彼らは、本当に大切なものに気づいて…。感涙ファンタジー、待望の文庫化！

清水晴木(しみず・はるき)

千葉県出身。2015年、『海に見える花屋フルールの事件樹～秋山瑠璃は恋をしない～』(TO文庫)で長編小説デビュー。以来、千葉が舞台の小説を書き続ける。2021年刊行の『さよならの向う側』(マイクロマガジン社)が大ヒット。その他近著に『旅立ちの日に』(中央公論新社)、『風と共に咲きぬ』(KADOKAWA)、『17歳のビオトープ』(幻冬舎)、『天国映画館』(中央公論新社)など。人生の出会いと別れ、生きる意味をテーマにしたヒューマンストーリーに定評がある。

実業之日本社 販売本部

電話:03-6809-0495
FAX:03-6809-0669

販売担当印:

帖合・貴店印

実業之日本社文庫 GROW

清水 晴木 著

ご注文数

文庫新刊

分岐駅まほろし

3月14日
指定必切

4月2日
配本予定

ご担当:
2025.03

様 A6 並製 予価(本体770円+税) ISBN978-4-408-55940-7

冊